

第4回

みんなで語ろう！～いなむら市長とともに 車座集会～ (テーマ型)

概要

テーマ：地域資源を活かしたまちづくりについて～西武庫公園編～

平成23年11月24日(木) 13:30～15:00

会場：県立西武庫公園 ゆめハウス 参加者：62人

みなさん、尼崎市長の稲村でございます。お忙しいなか、たくさんの方にお越しいただき大変嬉しく思います。ありがとうございます。

みなさんのお手元に配付させていただいています「尼崎市の再生と発展を目指して」ですが、これは尼崎市の財政状況について、いつも車座集会の冒頭で説明させていただいている資料です。尼崎市の財政状況が大変厳しいということは、すでにご承知いただいていることと思いますが、今年度で約50億円の収支不足が生じています。来年度の予算編成も本格的に進めさせていただいて、12月に市民のみなさまからご意見をいただくパブリックコメントに向けて準備を進めています。厳しい見直しを進めていく提案もさせていただきながら40数億円程度の赤字を見込まなければ予算編成ができないという状況です。尼崎市は一般会計が2,000億円程度の規模ですが毎年50億円程度の収支不足となるため、貯金の取り崩し、また、厳しいコントロールをしなければなりません。どうしても一部借金をしながら遣り繰りをしているという状況です。

これから日本社会全体の人口が減少していくなかで、借金に頼りすぎた行政運営を進めていくことは許されない状況です。市長に就任してまもなく1年になりますが、こうした様々な改革というものは、改革そのものが目的ではなく、時代の変化に対応して、これから次世代に元気な尼崎市を引き継いでいく、私たち自身が安心してこのまちで年齢を重ねられるまちづくりを進めていくことが目的だと思っています。その目的に必要な手段として様々な改革を進めているということを忘れないようにしようと思います。本来の目的のために、厳しい財政状況ですが将来を見通して、今、手を打つべきことと、今後、手を打っていかねばならないもの、もっと言えば、尼崎市の厳しい財政の理由のひとつとして国民健康保険の財政が非常に厳しく、これはみなさんもご承知のとおり、産業都市として発展してきた尼崎市、一方では労働者のまちでもあり、市民のみなさんの健康状態を他の都市と比べてときに良好ではない。それだけ医療費も伸びています。そうしたなか、特定健診とりわけ予防が私たちの意識次第でできるよう進めています。すぐに医療費が縮むことはありませんが、私たちの健康状態をしっかりと改善できる取組みは将来を見据えて進めていこうと思っています。現役世代の若い人たちが子育てをし、そして自分たちが年齢を重ねていくまちとして尼崎市を選んでもらいたい。そのためには、学校教育などもしっかり時間をかけて中身を充実させていかなければならないとも思います。また、若い人たちが安心して働けなければ市民の生活レベルが向上しませんので、就労支援や雇用対策等にもしっかり取り組みながら、産業都市としての強みを活かしたいと思っています。

来年度から、経済を担当する局と環境を担当する局と一緒に、新しく「経済環境局」とすることを先日発表させていただきました。環境に係るこれまでの尼崎市の歴史や公害との闘いも踏まえて、市民の生活にも産業にもプラスになるような環境の政策を進めていこうと考えています。今後は、将来を見据えた政策を厳しい財政状況のなかでも取り組んでまいります。財政状況につきましては、この冊子をご覧くださいと思います。

そして、そのような私の市政運営に対する基本方針として3つの柱を掲げています。1つ目は「コンパクトで持続可能なまちづくり」、2つ目は「信頼と分かち合いのまちづくり」、3つ目が本日の車座集会にもあてはまりますが「市民自治のまちづくり」として取り組んでいるところでございます。今後ともみなさまのご理解とご協力をお願いしたいと思います。さて、全体の話はこの程度にさせていただき何かご質問があれば後ほど発言していただければと思います。

市長

車座集会は、前の白井市長が取り組んでこられた事業ですが、私が引き継ぎ少しリニューアルをさせていただきました。これまでどおり、どなたでも参加していただいて、その場でみなさんと話をしたいテーマを提案していただくフリートーク型、また、対象者を絞ったターゲット型、これは先日、高校生が尼崎市の未来をどう考えているのか対話をしたいということで高校生をターゲットにして実施いたしました。そして、本日のようなテーマ型、これはどなたでもお越しいただけますが、みんなで意見交換をするテーマをあらかじめ決めて、そのテーマに関心のある人同士が議論したり、お互いの意見を知る。そういう場所にしていきたいと、今年度からバリエーションを増やして車座集会を実施しています。

タイトルは車座集会という言葉が定着していますので、このネーミングを使って、みんなで語ろう、私、いなむら市長とともに車座集会としています。みなさんの意見を行政を預かっている私もしっかりと聴かせていただくと同時に、当然一つのテーマにも市民のみなさまの中には様々なご意見があると思います。それを市民のみなさんもお互いに知っていただいて、市民同士でも話し合いをする、それを行政もしっかり受け止め、一緒に前へ進めていく機会をもっと持ちたいと思います。市民のみなさんの中にご意見があるようなテーマをしっかりと選び、こういう場を活用していきたいという気持ちがあり、今回、兵庫県から尼崎市への移譲を受けてほしいと言われております西武庫公園の今後ということをテーマに選ばせていただきました。

この西武庫公園につきましては、みなさんに十分な情報が発信できていなかったのではないかと考えています。と言いますのも、現在、今もって兵庫県と尼崎市の間で協議が続いている状況でございます。みなさんも報道等で何度か見ていただいたと思いますが、西武庫公園について、これまでの経緯を簡単にご報告したいと思います。

西武庫公園は、県立公園として長年みなさんに愛着をもって親しまれてきました。特に日本で初めての交通公園というような特徴もありまして、尼崎市の市民のみなさんにも大変よくご利用いただいている公園でもあります。平成20年7月、兵庫県も大変財政状況が厳しいなか行財政構造改革を進めており、その改革の一環として、この県立西武庫公園は尼崎市に譲りますと方針が出されました。そのときは、私たちに突然言われてもどんな条件なのかということから話し合いが始まりました。兵庫県は行革として何とかお金を節約しようとするプランのなかで出されているものですから、そもそも兵庫県はお金を出しませんという姿勢でした。尼崎市も大変厳しい財政状況のなかで話でした。まず最初は、多くの市民の方からもお寄せ頂いたご意見ですが、県立公園としてそのまま西武庫公園として残してほしいということに尼崎市の意見として兵庫県に申し入れを続けてまいりました。市といたしましてもお金がない中で、これだけご利用いただいている公園ですから県立公園として残してほしいと要望してきました。

兵庫県の言い分としては、利用者の約8割が尼崎市民だから尼崎市で管理してくださいということでした。長年、県立公園として親しまれてきた公園ですので、やはり兵庫県の責任において存続してほしいと思っていましたが、その申し入れはなかなか聞き入れてもらえず、その後、兵庫県がどのように返事をされたかと言いますと、どうしても尼崎市がこの公園を受けないということであれば、兵庫県も一定の役割が終わったと認識していることから県立公園としては廃止をしていきます。公式には平成23年度末で廃止をしたいとのことでした。兵庫県は尼崎市が受けないのであれば公園としての用途を廃止しますと強行で残念な返事がありましたが、私たちとしては、この公園を閉めてしまうことはどうも考えられません。ご存知のとおり、尼崎市は公園を非常に沢山持っているまちではありません。限られた財源のなかでなかなか増やせませんが、市域が市街化されているまちですので、西武庫公園のような大規模な公園は一度手放しては、そうそうと簡単に新しく生み出すことは難しいと思っています。これだけの財産を兵庫県が廃止をするなら「どうぞ」とはできないであろうと、尼崎市としてもできるだけ市立公園として引き受けられるような方向で、兵庫県と具体的な条件整備の議論に入ろうとしています。これまでは県立公園として残してくださいと申し入れしていましたが、私たちが受けていくことを考えながら財政状況の厳しい中どういう条件で移譲が進められるのか兵庫県との協議を進めているところです。

	<p>兵庫県では、今年度末で県立公園として一旦廃止をしたいと言われていますが、もう11月ですので、兵庫県側のスケジュールを進めることは難しいと私たちは考えており、これについても協議の途中です。</p> <p>維持管理費について、少しでも兵庫県に負担してもらえないのかということも随分協議をさせていただきましたが、県立公園としての役割が終わったことが前提であるため、維持管理費は一切負担しない、そうでなければ廃止をするということが結論だということです。維持管理費は尼崎市が負担をするという前提で移譲を受けるという決断をしなければならぬという状況になっております。そう言われていますが、園内にはすでに老朽化している部分があります。管理棟もかなり古くなっています。古くなってどうにかしていかなければならない部分まで、全てをそのまま尼崎市に押し付けられては困るということで、いずれにしても兵庫県が廃止と決めたのであれば、撤去をしなくてはならないものや老朽化でやり変えなければならぬものについては、市がこれから維持管理費を抑えながら市民の方に利用しやすい公園にしていくことを考えれば、最低限の最初の部分については、兵庫県が負担すべきではないかということで現在交渉しています。</p>
市長	<p>ここで車座集会を開かせていただきましたのは、この公園がどのような公園に、しかも財政状況が厳しいなか、みなさんが思うことをすべて新しく作り変えることは非常に難しいですが、みなさんのこの公園で守ってほしい部分もしくは、こういう部分はお金をかけずともみんなのできるのではないかという、みなさんの思いやイメージというものを聞きながら、私たちも兵庫県との協議に臨むべきであろうと考えているからです。今日は、何か結論を出すという場ではありませんが、みなさんから様々なご意見をしっかりといただいて、みなさん同士もいろんな意見があることを知っていただいて、私たちが限られた財源のなかで取り入れながらできるもの、今後の公園の管理や活用についても、みなさんといっしょにまちづくりに取り組んでいきたいと思っております。これまでは兵庫県の事務局のもとに協議会がありましたが、今度は尼崎市のなかで新しいネットワークを作り、遠方からでも足を運んでもらえる公園にしていきたいと思っておりますので、今日はぜひともみなさんの忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。ただできることと、できないことがありますけれども、説明を加えながら進めてまいります。また、みなさんからのご意見については、兵庫県にも言うべきことがあると思っておりますが、まず、率直なご意見をいただきたいと思っておりますので、最後までよろしく願いいたします。</p> <p>事前にアンケートを取っていただいたり、議論をしていただいていることは私も承知いたしておりますので、発言したい方は挙手をお願いいたします。沢山の方にご参加いただいておりますので、できるだけ手短かに、いろんな方にご発言をさせていただきたいと思っております。</p>
市民	<p>市長、今日はお忙しいなか、こういう場をもつていただき、ありがとうございます。今、市長の方から尼崎市の財政などいろんなお話がありましたが、この車座集会で西武庫公園の移管をテーマに決めてお話をしようと思いました。私がここに立っていますのは、さきほど市長より説明が遅かったのではないかなとお話もありました。今、お配りしている資料を見ていただきましたら、みなさんが日々、利用されている公園について尼崎市や兵庫県が移管の話をしているなかで、実際にどのように動いているのであるかよく理解ができていない方も多かったため、発端は公園の将来の危惧・不安ということから入っていきましました。我々は県民であり、市民であります。市が考えていることや県が考えていることが少し違うのではないかなと思ひ、そのなかで、日ごろラジオ体操している地域の方やお風呂屋さんなど、いろんな方に一度聞いてみるためにアンケートを実施してみようかと始まり、「交通公園アンケート実行委員」を設けて、みなさんの意見を聞きましました。</p>
市民	<p>今日、初めてみなさんの前でアンケートの結果を報告しなければならぬと思ひましたし、県や市の出前講座というのがあります。都市整備局公園課のほうから説明を受けましたが、ほとんどの方が行政の言われていることにかなり違和感があるようで、市長とお話を交えるという場で、もう一度アンケート結果をお伝えしたほうが良いのではないかとこの日を目指してアンケートをまとめました。また、先日の公園課の方とお話をして、我々の要望らしきものは提出しましたけれども、まだ県の持ち物で市が要望してもなかなか難しいというようなご意見もありましたので、一昨日、尼崎市の広報担当を通じまして記者クラブにアンケート結果をお伝えいたしました。読売・産経・神戸・朝日の4社の方が取材に応じていただきまして、今お配りした記事を掲載していただきました。実際にこういう場を通じて、みなさん方の意見を我々は聞きたいということもあります。ニュートラルな考え方でいます。意見を出して、「こういうふうにする」ではなくて、とりあえずは現状を把握してほしいということ、将来どうなっていくといいのか、あるいは話し合いの場をもつてほしいという意見が圧倒的に多くありました。のちほど説明をしてもらいますが、結果をみていただいて、この地域のまちづくりも含めて市長とお話ができればなあと、このようなアンケートの報告をしにまいったわけでありまして。内容について説明をしてもらいます。</p>
市民	<p>今日の目的は、事務局が話すのではなくて、ここにいらっしゃる方に自分の思いを市長に伝えてもらうことが一番大きな狙いです。細かい説明は省かせていただきます。読んでいただきながら、また、市長と応答しながら、ご自分の考えを深めていただき、市長にご自分の言葉でしっかりと思いを伝えていただければと思います。なかなかこういう場で発言するということに日本人は慣れておりません。私も今ドキドキしながら喋っています。大抵の人が慣れていないと思ひますが、今日は大事な私たちの公園のためですから、ぜひ、短くてもいいのでよろしくお願ひします。</p> <p>報告は簡単にします。アンケートのねらい、実施結果が書いてあります。ここを読んでください。次に右側になりますが、移譲ということには、もの凄く感謝しています。アンケートのなかにはこの言葉も記載されています。1,583人、回収率が75%、普通は50%前後あればいいんですね。投票率でも60%いけば普通ですね。アンケートのなかで、工事を開始せずに市民に公開、市民参加の検討会を持ってほしいと答えた人89.9%、もうこの一言しか言えませんが、これまで出前講座でもそうでした、市民参加はわかります。だけどそれは工事が終わった4月以降にしてください。これが今の担当者の繰り返しの発言です。私たちがお願いをしているんです。二度、三度と。それでもなおかつそのように言われています。それでは遅いんです。一体私たちはこの公園をどう利用したらいいのか、どういう使い方が多くの民意に沿うあり方であるのか、それはいろんな人の思いを寄せ集めて協議してみないとわかりません。担当者が机の上だけでプランを作られて、これで決めてください。市長の姿勢は市民参加だと思ひます。今すぐでもいいので、みなさん公園をどう使いますか。県が工事をストップするよう引き延ばしますから、市民のみなさん明日から市民参加の協議会を開催しますから関心のある方は集まってくださいと、市報に載せていただけてやってもらいたいぐらいの気持ちです。</p>
市長	<p>兵庫県にもこういうご意見を聞きながら考えてもらいたいと申し入れもして参りましたし、率直にお詫びをしなくてはならないと思ひますが、兵庫県との協議が行きつ戻りつで進めているなかで、どの時点でどういってお話を情報として出していいのか担当課のほうでも判断が難しかったのではないかなと思ひます。結局、今更言っても遅いのではないかと、アリバイ作りではないかと思われましても仕方がないというのはご指摘のとおりだと思ひます。今日、まだ、まさに兵庫県と協議中ですので、結論を出すことはできませんが、このタイミングでぜひともご意見を伺いたいと思ひますので、事情をお汲み取りいただければと思います。</p> <p>遅すぎたことについては、私たちが受け止めさせていただいております。公園のあり方についてのアンケートの報告をいただいたなかでは、交通公園部分を兵庫県がもう役割を終えたと判断をしていることや管理棟の撤去などについては市民合意ができていないのではないかなということがこのアンケートに示されているのではないかと受け止めていますが、そのことについてもう少しご意見をいただきたいと思ひます。</p>

市民	<p>もう一度確認したいと思いますが、市長が今言われたように管理棟の撤去、まず最初に言われたのが老朽化している、耐震構造ではない、もうひとつは、公園の中の交通機能と言っている子ども達がゴーカートに乗ったり、信号機があったり道路がある、あの部分を全部、周りの外周道路だけを残して整理をして芝生化にしていこうということですね。県は、長年交通公園の交通機能を果たしてきたけれども、もうそれは役割が終えたという表現をしているんですね。その1点で芝生化にしようと言っています。それにつれて80本ほどある樹木を伐採しなければならない。遊具に関しては残せる部分については残すということを聞いています。私たちが思ったのは、特に子どもを預かる立場からみて、子どもたちが日々公園を利用してシンボルの木をみている。実際に調べてみたところ、県に聞いたことですが年間7千人、平成22年度は7千数百人が利用しています。幼稚園・保育所が75%、20%が小学校、その他が5%となっています。県は、今お配りした新聞報道にありますが、新聞社もおそらく県に問合せをされたと思います。が「ピーク時は12万人以上が交通機能を利用していた」という記事が載っていると思います。12万人から7千人になったら、えらい少なくなっているのではないかと、県は交通機能は終わったと言っていますが、7千人が多い少ないというよりも、私は、まだ7千人も利用していると、そういうふうには思いたくない。それと十何万人から7千人にということは減っているな、交通機能は終わっているなど思われますが、十年間ぐらいは毎年7千人程度の利用がある。利用者の変遷というものがあり、私も調べてみましたが昭和50年台に松下電器が寄付で機材が沢山あったので展示品として置いていた。参加者はピーク時には年間12万人くらいありました。その後、どんどん減ってはいます。それは機材がなくなったり、事務所がなくなっていっています。45年に交通公園内に交通視聴覚センターというものも完成しました。8年後に交通教室参加者が12万7千人、ところが十年後、ピーク時の2年後にセンターが閉館になります。そして、17年後、完全にセンターが閉館し、教室の参加者が3万人に減ったと、平成5年になって利用者が1万人に減っていく。これは参加者が減っていく理由はここに何かあるのではないかと私はそう思うんです。</p>
市民	<p>ですから、交通公園としての機能が終わったというよりも、県の財政とかセンターが閉館した影響があった。あるいは松下電器の寄付があって利用者が多かった。現在は7千人程度になっている。決して少なくないと思います。年間7千人の子どもたちが利用しているんです。それと、これも県に聞いてみたんですが、交通公園の維持管理費が3,700万円程度、県の方がいたり、木の剪定などしていただいています。交通公園の交通機能にはいくらかかっているのか、370万円程度で年間経費の約1割程度なんですね。その1割程度で役割が終わったと、将来を担う子ども達に交通というものを教えていくこの場、日本で初めてできた交通の機能を持ったこの公園を市民参加で何とか、もう一度交通の勉強ができるものにはできないのかなと思うんです。それはみなさん方、この関係だけではなくて無灯の自転車が走っていて危ないとか、商店街を走っていてとても危ないとか、いろんな規制やマナーのことを勉強するそんな場所なんです。子どもだけではなくて大人も勉強しなければならないこといっぱいあると思います。それが交通機能の役割が終わったと、当局の公園課の方が言われるのは、各小学校やあるいは幼稚園などに北警察から出講している指導してもらっているのとありますが、すべてを賄えるとは思えないんです。一般の方も利用している、私が思うには交通機能が尼崎市にとってもプラスになることだと思いますので、逆に市民と市が検討会をもって話し合いたい。今、潰してしまえば、もう一度やろうとした時に大変な労力が必要になるしお金も必要になるということを感じております。</p>
市長	<p>交通公園の機能の役割はまだ終わっていないのではないかとのご指摘です。私どもはこの交通公園部分を残した場合、兵庫県では370万円程度とお話をさせていただいたのですが、いろんな計算方法があるかと思いますが、尼崎市では、この管理棟や交通安全指導、信号機の維持なども行うとなれば800万円程度の費用がかかるのではないかと試算をしています。交通教室については、当然交通公園以外の部分を利用して全市民的に教室を行っています。交通教室自体はこれからも益々需要性が高まると思われまます。さきほどご指摘いただいたように尼崎市では自転車のマナーが非常に悪く課題にもなっています。子どもから大人までと非常に大きな課題であります。最近の交通事故でも自転車が関係している件数もかなり増加しています。そういう意味ではマナーの向上として交通安全の意識の徹底にこれからも取り組んでいかなければならないと思っていますので、交通教室とは別にしてマナーの向上を市民のみなさんと一緒に取り組んでいくことは間違いのないことです。そのなかで西武庫公園の当然費用対効果も考えながら、ここでも交通教室を行っていくとなれば、どこまでできるのかということになります。</p> <p>みなさんのなかで、交通公園として残してほしいというお考えで本日ご参加していただいているという方はどの程度いらっしゃいますか。半分を超えていますね。それは私が冒頭の行財政改革について説明させていただいたとおり、私たちが今どういうことを目的にしているか進めていかなければならないのかということと、それを実現していくための、手段の一つとしてお金の制約もあれば使い勝手もあれば私たち利用する立場の気持ちもあります。いろんなことを考え合わせて現実的かつ実現可能な、そしてみんなが納得できる手段をやはり前向きに考えていかなければならないと思っています。そういうことを考えていった結果、一定のお金をかけて西武庫公園を交通公園として残すという、大きな決断になります。相当な費用が必要となってきますので、そうすると今度は別のことを我慢して西武庫公園を優先するのか、また次の議論をしていかなければならないと思いますが、今日はそこまでの結論を出すための場ではありませんので、みなさんからいろんなご意見をいただきたいと思ひますし、もう少し言えば、本当に今大事に思っていること、例えば、アンケートの項目のところを見せていただくと、落葉樹を伐採するのは非常にもったいない。そこは管理棟がなくなったら木陰が少なくなるけれども木を残すことで木陰が公園にも残せるのではないかと。外周を残すだけではない。信号機のもつ意味やゴーカートなど、別の残し方がないのか、大事に思っていることが管理棟の再生なのか、今のままでなければならぬのか、そういう点についてもみなさんから、結論を持たずに率直なご意見をいただきたいと思ひます。取り入れられることもできないこともあります。また、兵庫県にも言っていかなければならないこともあるかと思ひます。</p>
市民	<p>同じ公園の話になりますが、お金をだせるヒントをだします。武庫川の河川敷で今、どれくらいのお金を使っているか調べてください。河川敷はここと同じ公園なんです。みなさん知っていましたか。武庫川河川敷が公園と知っている人いますか。そこは30数年前に県から尼崎市に譲ってもらったものです。市は河川敷公園として開放しました。ところが今見てもらったらわかるかと思ひますが野球場になってしまいました。コンテナを置いてあります。地震・津波がきたら大変ですよ。しかも公園にごみ箱がないのに、河川敷にごみ箱を置いてある。それを市は税金を使って収集しているんですね。</p>
市長	<p>武庫川河川敷の経費をもっと削ってはどうかというご意見ですね。</p>
市民	<p>公園のごみを税金使って収集するなんて考えられますか。</p>
市長	<p>スポーツ施設への要望も大変多く、やはり市民のみなさんのなかには、いろんな子ども達のスポーツの場をもっと整備してほしいというお声もございます。</p>
市民	<p>もう1つ言いますと、河川法の違反になりますよ。コンテナなどを置くことが違反だと思ひます。西宮の人が向こう側の松並木が弱ってきたので県に松並木を再生しようと相談をしたところ、県はどう返事したと思ひますか。そういうものを植えたら妨げになるからだめだと。こちら側はどうですか。コンテナを置いて妨げになりませんか。言うこととすることが違うんです。</p>

市長	<p>武庫川河川敷の利用については、ご意見としてしっかり受け留めなければならないと思います。ただ、スポーツ施設への要望は事実でございます。実は西武庫公園に対するご意見はいろんな形でいただいており、市のほうにも届けられつつあります。そういうことも受けて今日の車座集会をしようとなったわけです。ここが交通公園でなくなるのであれば、サッカー場を作ってほしいという意見も正直あります。これだけの敷地が市内にはなかなかありません。サッカー場については難しいというお話もさせていただいていますが、市民のみなさまのなかには、いろんな考え方があるということをご理解いただきたいと思います。交通公園として利用したいというみなさんのご意見もその一つです。</p> <p>武庫川河川敷の経費の削減については、使い方に対するご意見は大切だと思いますので、しっかりと受け留めたいと思います。</p>
市民	<p>私はたくさんのご意見を尼崎市に要望していますが、県に対して尼崎市も一緒に要望してほしいと思います。県は今までのことからしても冷たすぎます。尼崎市に維持費を押し付けています。私たちはみんな県民緑税を支払っています。年間800円も支払っているんです。それが本当に無駄になっているのではないかと考えています。肝心なところにはオープンにされていないので、そういう部分もオープンにして、もっともっとこの公園が無駄のないようにしてほしい。この社会は平等ではないのかもしれませんが、正直者がバカを見ないようにしなければなりません。ですから、みんなで一緒に県に言いに行ってくれるか、具体的に議論をして尼崎市だけが苦しむわけにはいきません。</p>
市長	<p>ありがとうございます。大変ありがたい言葉です。もともと県立公園として残してもらいたいというのが、多くの市民の方のご意見ではなかったかなと思います。それを受けまして尼崎市も当然、県立公園として残してほしいと、管理費の部分については、まだまだ工夫の余地があるのではないかと強く要望してまいりました。結局は、そういったなかで今年度末で廃止と兵庫県が決定し、かなり強く打ち出されたものですから、ここで一定の条件のもとに移譲について、この公園が本当に廃止されたときのリスクを考えて判断いたしました。それから移譲に向けた条件について話し合っていくことになりましたことはご理解いただけますようお願いいたします。今からでも県立公園として残してほしいと兵庫県に要望することはできます。それは廃止のリスクまで重ねてしまうこととなりますので、それでもみなさんの合意がいただけるのかと考えましたら、少し難しいように思います。</p>
市民	<p>県から市に移管されるほうがいい。県に要望してもなかなか届かなくて、市に移管してもらえたらもっと活動に力を入れてくれるのではないかと考えています。県より市が身近でよい。ぜひ、市が受けていい公園にしてほしいと思っています。何年前かに二本松プールの廃止について市の方針がありまして、ひと夏に12,000人利用していたのに減ったと廃止。老朽化で補修費がかかるから廃止となりました。なんだか先ほどの話と同じように思いました。そろそろ潰すことになるのですが、潰されても大井戸公園のように水の流れる小さな公園にしたいなと、今再生計画のワークショップが始まっていますが、上限を決めて業者に一定の金額で進めるように言っているためか、こちらから要望をしたら上限を超えるからできないという返事が返ってくる。トイレは簡易トイレ並み、それは点数超えますなどと、潰すときは市の財政をもとに説得して、潰して公園に再生しようと思ったら、上限を決めてきている。そうではなくてももともとは市民プールを廃止したら公園にするということだったはずですが、それから、この公園の話ですが、公園の管理ネットワーク会議に入っていますが、まず前提が違うんですね。今、ここには事務職の方が4人おられます。その下に植木等手入れで7・8人います。人がいて運営管理をしている公園を市は人を置かないという前提で全て計画しています。それでは話がかみ合わないと思います。一つは人がいなくても地域の人たちでグループを作って管理運営することができるのであれば任せるといこともあり得るんじゃないでしょうか。あり得ても潰してしまったら膨大な経費がかかるので、おいておいたうえで、できるかどうか。そういうこともぜひ、考えてほしいです。県は3月末までに撤去費用を使わなければ、それ以降に撤去する場合は市に経費を負担しろと言っていますけれども、住民と市が一緒になって県に話し合いがつくまで撤去を待ってくれと、話し合いがついて撤去になったら費用を来年になっても県が負担するようにと、住民と市が一体になって県に要請に行くと、尼崎市も県議員を何人が出していますよね。そういうことを1つになって取り組んではいかがでしょうか。</p>
市長	<p>ありがとうございます。費用についても協議中ですが、年度末というのは少し厳しく感じています。みなさんもすでにご覧になられているかと思いますが、兵庫県はこの尼崎市の西武庫公園以外にもいくつかの県立公園をこの年度末に廃止をしようとする計画を立てています。尼崎市以外は廃止条例をあげていこうとされています。全部で4箇所になりますが、尼崎市以外では、もう1つの町が受けると、残りはもう地元が受けないと言われていまして、一旦都市公園としては廃止をするとのこと。全部を揃えて今年度末に廃止をしたい意向だという説明と、予算がこの4箇所合わせて今年度中に執行するという前提で枠取りをしているようで、そのうち、どれだけのお金を西武庫公園にかけてもらえるのかということも、まさに協議中でございます。いくら予算の関係といわれましても、スケジュールのことも兵庫県に今申し入れをしているところです。それについて、みなさんから拙速だというご意見はしっかり兵庫県にも伝えていかなければならないと思っています。市が移譲を受けていく前提でスケジュール等を協議していくということ、県立公園として残すスタンスでは違いますが、市としても苦しい立場のなか兵庫県と協議をしていこうとしているところです。ご指摘いただいたように予算上は兵庫県に負担していただくべきですが、厳しい予算取りになることは間違いありません。私たち尼崎市が市民のみなさんと、この公園の今後を考えていくということでスタートさせていただくとおっしゃっていただくと私たちとしてもありがたいと思っております。公園のどこを残してもらうのか、維持・管理についてもしっかり話し合うべきだということだと思いましたので、それはそのとおりだと思えました。交通公園として残してもらえるなら兵庫県でも市でも良いということでしょうか。</p>
市民	<p>県には、もういかないでしょう。</p>
市民	<p>県の一方的なことを受け入れてはだめです。</p>
市長	<p>市といたしましても、呑むに呑めない状況を背負っていますので、そういう意味では、このように市民のみなさんからしっかりご意見をいただいて、それも含めて兵庫県と協議をしていこうと思っています。</p>
市民	<p>意見というより質問ですが、さきほどから移管・移譲という言葉が出てきますが、その場合の公園の土地の所有権はどうなりますか。</p>
市長	<p>それについても協議中ですが、私どもとしては移譲して、市に管理をしないと言われるのであれば、土地を含めて市が公園をもらわなければならないと思っているのですが、兵庫県の方は、無償貸与でどうかとも言っています。そのあたりは話にならないということで、今まさに協議をしているところです。当然、兵庫県からの条件を丸呑みするつもりはありませんので協議をしています。</p>

市民	虫が良すぎる話ですよ。話し合いをしていただくのはいいのですが、所有権を県が持っていたら、次は財政状況が悪いから半分売却しようとする、全部を業者に売却してしまうと、きっとマンションを建てたくて仕方がない場所ですから、市に所有権が移ればそんなことが急に決まることはないと思いますが、県であったらやりかねませんので、特に兵庫県は国の出先機関のようで県民の方を向いてはいけませんので、違う話になりますが、震災のときに多くの県から応援に来られたとき、よその県の方がびっくりされていました、兵庫県はどっち向いて仕事しているのかと全国的にも評判が悪いので、市もなかなか大変だと思いますが、所有権のことなどでも心配にしています。
市長	私たちが管理をするならば、当然売却はさせません。そもそも兵庫県が廃止というストーリーに乗せてしまうというんな可能性がでてしまいますので、案としては半分を売却してマンションを建てて、残り半分を公園に整備するということがあります。市としては、これだけの大きな敷地に恵まれた公園が市内にはそうそうないということとしっかり交渉してまいりたいと思います。
市民	この話は、市長には大変失礼ですが、説明責任が兵庫県も尼崎市もなされておられません。これだけ大きいことにも係わらず、情報開示がされていない。タイムリミットが決まっているのに、未だ協議中といいますが、もう11月の終わりですよ。
市長	タイムリミットも踏まえて協議をしているところです。
市民	3月を過ぎたら、県がここを管理していくのですか。ここは指定管理をしていることを掲示板に書いています。とてものんびりしているように思います。我々がボランティアとしてやろうとしても、いつからやればいいのかわかりません。協力しようと思ってもできないではありませんか。またこの話について、県も市民意見を全く考えていません。我々は県政・市政に参加する権利があります。それを全く無視をして公園の廃止は考えられない。この敷地にある樹木は一酸化炭素を吸って酸素を放出しています。これに代わるものがどこにありますか。どこにもないでしょう。なのに、あまりにもお金がないから、お金がないからと言いますが、これから財政的に良くなることはないですから、もっと厳しくなりますから、我々もっと厳しい生活が待っています。そのために新しい公共・市会・市政・市民で担っていかねばならないのではないのでしょうか。厳しいですが、ぜひともよろしく願います。
市長	兵庫県がどんどん前倒しに進め、市に対しても強い態度で来ているのも事実ですが、みなさんのご意見を聞かせていただくこういう場を設けるのが遅かったことは、私どもも率直にお詫びをしなければならぬと思っています。これから兵庫県と協議をしてまいりますが、みなさんのご意見と今後に向けての話し合いが遅すぎたからもうしないのではなくて、これからは是非ともみなさんのご意見をお聞きして、みなさんと一緒にこの公園をどのように守っていくかということをお叱りを受けていますが、取り組んでまいりたいと思います。
市民	市長、予算が必要になりますが、この公園の樹木が、どれだけの一酸化炭素を吸ってどれだけの酸素を放出しているか調べることはできないのでしょうか。
市長	いろいろあるとは思いますが、私たちが守れたらいいものは沢山あります。私がいつも言っていることですが、尼崎市のお金はみんなのお金なんですね。私たちが払って出し合う、ではもっとお金を出して、もっとこんなことに取り組もうということもあるかと思いますが、お金を有効に使おうというのとも考え方だと思います。財源が豊かであればいろんなことに取り組めますが、一方でみんなで新しい公共ということもお話いただきましたが、お金がないからゼロではなくて、ないなりに考えていこうという市政をさせていただくのも、お叱りを受けることも多いかと思いますが、やりがいのあるものだと感じていますので頑張りたいと思います。
市民	本日はご苦労さまです。ただ、今までの応答のなかで、市長のこの公園の存続に対する覚悟・決意のほどが今日見えたので、経過途中ではありますが、まずは胸を撫で下ろしております。ところが、この公園の問題というものは、平成20年の第2次行革プランが発表されたなかに包括されております。その時点では、公園に対する県の解釈としては移管・移譲というような姿勢でありました。しかし11月当初の市の第2次行革プランでは、廃止という文言が入ったわけです。この廃止という言葉が入ったために、私たちはこれとは思い、説明会を開催し会が結束されたわけですが、以降、県に対しては3万筆の署名を提出すると同時に当局との打合せ、話し合いに臨んでおります。数回にわたりました。あわせてその件については、市の当局との二度にわたっての打合せをしてきております。そのなかでどうも市と県の構想の経過がはっきり見えないことから、私たちは公文書の開示請求をいたしまして、今年1月31日付で都市整備局公園課からの返信になります公文書開示決定通知書をいただいております。約30頁にわたっております。いただきました公文書の名称は県立西武庫公園の移譲渡に関する兵庫県と尼崎市の協議資料一式でございますが、これはおそらく一連のプロセスの流れを記述してありますので、これを見てくださいと市長と県との交渉の強力なバックアップ資料になると考えておりますので、ぜひご覧になっていただければ幸いです。さきほど、交通教室のお話もありましたが、そういうデータもこの資料のなかに入っているわけです。ちなみに見てまいりますと、利用状況ですが、データが少し古くなりますが交通教室に関しましては、昭和53年に利用団体数が854団体、利用人数は127,075人の人が利用しております。以降減少してまいりまして、平成19年の時点では、164団体7,830人となっております。しかし、実際365日で割りますと単純計算になりますが、1日20数人が少なくとも交通機能・施設を利用していることとなります。当然、ゴーカートにも入ってくると思うのですが、ですから、この頭数だけではなくて、さきほどの自転車事故の多発している時期において、この交通教室機能を全く変えてしまうことはいかがなものかということで、単なる費用対効果という意味合いだけでは解釈し得ない大きな課題であろうと私は考えます。
市民	さきほどの市長からお話もありました、また公園法の話もありますが、これについても抜粋がありますけれども、打合せのなかで県がどのように解釈をしているのかということも意見で聞いておりますが、大雑把にざっくりと解釈しております。要するに県の方に正当な理由があれば、公共性の意味があるならば、どうにでも解釈できるというスタンスにあります。それについてはおかしいのではないかと言うのですが、県とすれば赤字の財政にあるから、そういった状況から交通公園の廃止については、あえて計画に手戻りはないという認識なんです。そのあたりについてももう少し伺いをしようと思うのですが、こういうバックアップデータそれから今まで市長に申し入れておりましたことや県との打合せの内容等の議事録を参考に県と交渉していただきたい。県の姿勢は意見にもありましたように、上から目線なんです。つまり移譲する市町村があれば移譲しますよ、冗談じゃない。自分達の不手際から赤字を作っておいて、4つの公園を廃止し約9,700万円、交通公園だけで700万円を切る話ですが、職員数、1人700万円を5・6人削減すれば費用はでてくるんです。そういうプロジェクトをしようとする、費用と内容を分析する目線もございません。出てくるのは人件費とその他の維持管理費用ぐらいのものなんです。我々としては、その職務の内容・業務量から見て、何人の人間が適正なのかもわかりません。他の費用についても明細がわかりません。非常に抽象的な論議だけで、初めからの県の姿勢を貫き通されたら大変なことになります。ですから、そういう上から目線のところで市長には、市民のみなさんの意見も踏まえて頑張ってください。我々、精一杯応援いたしますので大船に乗った気持ちでご安心ください。

市民	<p>私も公園内で活動していますし、ほとんど毎日この公園を利用しています。私が日ごろ思っていることは、この公園は交通公園という作りで作られています。ちょうど公園の真ん中あたりに広場がありますけれども、幼稚園の子ども達が運動会とかあるいは、お年寄りがゲートボールなどで利用しています。いざというときの避難場所として公園を考えていくべきではないかなと、この公園を利用しながら思っています。少し南に行くとベイエリアというのでしょうか、親水ゾーンといいますが水に親しむといいですが、水のでていない噴水があります。市民プールが廃止されたときにも思ったのですが、西宮ガーデンズの噴水があって夏場は子ども達が下着一枚で遊んでいる水辺のように、これからの公園として老若男女が利用する公園の一つとして、あの噴水も必要になってくるのではないかなということも考えています。県から市に移るにあたって、どういふに工事をするのかという話になりますけれども、これからの公園をどうするのかということと連動してきますから、とりえず古くなったからどうしたらいいのかという問題ではないと思います。そのためには市民とのやりとりを何回も繰り返していく。半年や1年はかかってもいいと思います。市民とのやりとりは、これからも続いていくのですから。もう1つ管理運営で申しますと、私ごとになりますが、3年ほど前に記念植樹をすることになり、当時県立明石公園で県民対象に応募しているという情報がありましたが、そちらに行くよりも近くの西武庫公園がいいと思い管理事務所を訪ねたところ所長に快く受け入れていただき、費用は全て自己負担ですが私なりの記念植樹ができました。こんなふうはこの近辺には幼稚園や保育所などいろんなものがあります。卒園記念とか個人的な記念日もあると思うので、私からの提案ですが、広く市民に対して呼びかけることも必要だと思います。環境整備も必要ですが、市民への呼びかけにも努力する。そういう姿勢をとってほしいものです。そういう活動のなかから市と市民の間に信頼関係も深まると思います。繰り返しますが、県から市に受け入れるにあたって、せめて1年くらいは時間をかけて公園のありかたについても話し合いをする場を考えてほしいと思います。</p>
市民	<p>年間、ここの経費として3,700万円ほどあればいいんですね。その捻出ですが、現在、駐車場の売上げはどのくらいあるのでしょうかね。費用の捻出方法ですが、県会議員や市長に力を入れていただいて、県に3,700万円じゃなくてもそのうちの2,000万という金額をだしてもらって、あとは市が負担する方法もあると思います。そのときに駐車場を増やすことも方法の一つではないか。維持管理費を少なくする方法を考える。管理棟も4種ありますが、あんな立派なものでなくてもいいと思います。極端に言ったらプレハブでもいいんじゃないかと思えます。そこに植木の手入れをする人たちの休憩場所があれば、それだけでも十分だと思います。交通公園をそのまま残すのであれば、それだけの経費を捻出するか考えてもらう。市長に申し訳ないが、3年前にここに国民健康保険課の方が来られました。その方が来られたときに、みなさんは介護、後期高齢者医療の問題で心配して来たと言われました。では介護保険がどうなるのか聞いたら私は健康保険の担当だから知らんと、こういうことです。担当者じゃないから知らないと、こんな人が健康保険課にいてるんですよ。言って申し訳ないけど、私が市役所に抗議したんです。じゃあ、その者と説明に来いと言ったにも限らず来ません。そういう職員はいらない。この人たちの人件費にいくらいるんですか。それカットしてください。ここの公園をどう運営したらいいか、もっと建設的な意見がほしいと思います。</p>
市長	<p>交通公園機能を残す残さないに係わらず、これだけの大きな敷地の公園ですから一定額の維持費がかかる公園です。荒れ放題でいいとはなりません。交通公園を残すかどうか、交通公園機能を残す以外にもいろんなご意見をいただいています。この機会に交通公園以外で、今までなかった機能がもっと優先的に低い維持管理費のなかで作ることができる、子ども達が水に触れ合うような機能が、もしかしたら優先ではないか、そういう議論をみなさんとしていく場を十分に設けることができなかったということが、非常にみなさんの不信感を増大させてしまったと思っていますし、自分達は何をしたらいいのかという強いお気持ちであることがわかりました。逆に心強く思っております。駐車場ですが、今の状態で年間約1,400万円の収入ということでございます。実は、その駐車場についても、もう少し沢山の車が入るように整備するのも兵庫県でできないかと申し入れをしています。これについても協議事項のなかに入っています。いずれにしてもこの公園を比較的妥当な維持管理費で、子ども達からお年寄りまでが楽しんで活用していただける公園にしていく、スケジュールも含めてどういふ公園にしていくのか、工事先行で進めることは、これからのことを考えると大変難しいということ兵庫県にしっかり伝えたいと、みなさんとこういふ話を続けていきたいと思っています。</p>
市民	<p>署名ですが、約3万筆の署名を集めた後も届けられていますので、かなりの数がみなさんの声として出てきていますので、県議会にも提出して県議会の建設委員会では、結論を出さず、廃止をしてもいいと言われた会派はどくもありませんでしたので、それを含めて行革のなかの一項目としてトータルのなかで採択されてしまったのですが、そのことを考えますと西武庫公園を廃止していいという人は県議会のどこにもいなかったという流れになっていることも一つ踏まえていただきたいと思っています。それからこの場になっても県も市もどういふことをしていくのかということを確認に市民に言わない。3月末で廃止だと言っているのに市民の声が活かされていないことに一番の憤りを感じています。今日、1番言いたいのは、西武庫公園の再生計画というのが16年度に策定されています。そこに係わった多くの方々、夢があってこういう公園にしたいというのを1つにまとめているのに、それを活かさないで税金がないから財政再建が厳しいからと言って、それを無にして廃止という方向にきていることに対して、市ももっと抗議をしていただきたい。</p>
市長	<p>みなさんのお気持ちは、当然なんです。いろんな取組みが遅れているのも、財政の問題ですが、兵庫県も市も子ども達に借金を残せない。今の借金は、今、生きている私たちの福祉や今の子ども達の教育とか、これからの子ども達に負担してもらわなければならない予算であるということも一方では事実です。そこを完全に無視しては、やはり私たちはまちづくりが考えられないということもあります。だからと言って、公園が交通公園として残せないということではありませんが、この基本だけはぜひ踏まえて知恵を絞らせていただきたいと思っています。</p>
市民	<p>お金を沢山かけてほしいと言っているのではなく、市民のそういう願いのもとに県がやろうとしてきたことを途中で打ち切ったということが許されないことだし、尼崎市から芝生化してほしいとか管理棟は撤去してほしいということを最初の条件で話を持って行かれたということは、市の係わる姿勢に問題があったのではないかと、今のこの時点でもどうなっていくのかということが見えてこない。</p>
市長	<p>今日、このようにみなさんからいろんなご意見をお聞きする場を設け、アンケートも取っていただいたご報告もお聞きいたしました。すべての市民の方が交通公園がいいと言われているわけではないと先ほどもお話をしましたように、サッカー場がいいとか、もっと広場を作りたいという方もいらっしゃるれば、とにかく維持管理ができる範囲で公園を残してほしいなど、いろんなお声があったことなんです。尼崎市が態度を決めた後にご意見をお聞きしているのではなく、兵庫県との協議の場でも勿論持ち込んでまいります。私たちも交通教室の取組みを強化してまいります。ここの交通機能がなくなるから交通教室がなくなるわけではありません。限られた費用のなかで子ども達にも交通の問題にも親しんでもらうとか、緑化をもっとできないかとか、維持管理もいろんな選択肢のなかで、兵庫県とのスケジュールの協議のなかで、私たちは交通公園を残すかどうか1つの選択肢として考えていることをご理解いただきたいと思っています。</p>
市民	<p>いろんな意見があるのは理解できます。そのいろんな意見を束ねていく必要があるのに、来年3月で受けるというのは、無理なことだと思いますので、そこは1年間猶予をもって議論をさせてほしい。最低限、そこで頑張してほしいと思います。市民からの要望をしっかりと受け留めていただいて、しっかり取り組んでほしいと思っています。</p>
市民	<p>昨日の朝日新聞の朝刊に載った記事ですが、最後のところで県公園緑地課は「9月に地元の社会福祉協議会の役員らに説明をした。特に不満の声は聞いておらず、早くに工事を始めたい」と書いていますが、この社会福祉協議会の役員に公園の利用者が入っているのでしょうか。よくここを利用する方が入っているのでしょうか。</p>

市長	地元の方だと思います。当然公園を利用している方もいらっしゃると思います。
市民	もし、入っていないのであれば、利用している人中心に説明をしてほしかったと思います。
市長	地元の社会福祉協議会の方ですね。当然利用されていると思いますが、社会福祉協議会に説明したらそれでいいのか、それで意見がまとまっているのかと言われますのも、そのとおりだと思います。公園の近くの保育所などにもいろんな気持ちがあると思います。
市民	県は社会福祉協議会の81単組に案内をして53名の出席があったと聞いています。新聞記者は県にも聞かれたと思いますが、そういう状況から県は了解を得ていますといったのかもかもしれませんね。それが記事になっているわけです。ただ社会福祉協議会の会長や副会長に聞きましたら、そんな話は全然聞いていないと、意見を聞くのではなく報告があったというだけで、それが決定事項でも何ものでもないんだと。だから単組の住民などに話を下ろしていないというようなことは聞いています。社会福祉協議会といいますが、地域の単組に住んでおられる方で、そこに説明会をもったと書かれていますが、しかも1回だけだったと思います。新聞記事というのは、記者が私たちの記者会見も聞いていただいて、県にも電話していただいて記事を書いていただいていると思います。
市民	これだけは最後に聞いておいてほしいのですが、先日の出前講座でもそうでしたが、工事をする前に私たち市民参加の検討会をもってほしいということをお願いしたところ、お返事がありません。ですが、本日市長のご発言をお話をきいたら、今までのニュアンスとは違います。やる気十分という気もしました。だけど、それだけでも信じられないというのも市民の立場です。ですから、具体的に工事をするかしないかも県で交渉をしましょう。何とか年度末までに使わなければならない予算を次年度1年間は時間をかけて使えるように交渉をしましょう。その交渉を進めていただく一方で、市民参加の検討会を今すぐにもスタートをさせてもらいたい。市長お1人でこの場で発言を受けて、どうしようか、聞いてあげようかと思われても帰ったら部下の方が居られます。いろんな人がいると思います。市長は部下を説得できますか。
市長	みなさん、それは誤解をされています。今日、この車座集会を実施するにあたっては、まずみなさんとこういう場を設けられなかったということは、お詫びをしなければならないと思っておりますし、これを機に話し合う場をもっていくということでもいいですねと担当課と勿論打合せをしてからこの場に立たせていただいております。
市民	では、具体的にいつに1回目をやりましょうと答えてもらいたい。
市長	それはできません。今日は具体的なことを決める場ではございませんので、申し訳ありませんが、お答えできません。
市民	返事ができないなら、やる、やらないどちらにしても後で連絡をいただきたい。
市長	そのようにさせていただきます。また広く広報もさせていただきたいと思っておりますし、やり方についても多くの市民の方のご意見をいただける工夫をしたいと思っております。また、県という交渉相手がございますので、交渉は進めていきますが、今日この場で何かをお約束することはできません。スケジュールも含めて、これからこの公園をより活かしていくためには市民、利用者のみなさんといっしょに取り組んでいかなければなりません。
市民	毎日この公園を利用して散歩・ラジオ体操しています。本当にこの公園がなかったら、私の健康はないと思います。西武庫公園という名前より交通公園と言ったほうが尼崎全体に知られていると思います。こうした立派な設備を壊すことばかり考えないで、管理棟もしっかりした耐震がなくても元気に建っていますので、これの活用についても考えてほしいです。財政が厳しければ何か料金をもらうことも考えてはどうかと思っております。市長にはしっかりと交渉をしてもらいたいと思っております。
市長	ありがとうございます。日本初の交通公園を壊さないでほしいという意見も含めていろんなご意見があるのは事実ですので、そういう声は本当に大事な部分、子ども達にとってどうなのか、健康増進にとってどうなのか、そういう機能が合ったほうがいいのか、維持管理費が現実的なのか検討しながら努力したいと思っております。お時間がまいりましたので、これで本日の車座集会を終わらせていただきます。みなさんありがとうございました。